

## 4384 地球のかおり：「朝餉のとき」(産経新聞) 心模様

スイス、マッターホルンが、再三登場する。久楽の大好きな山。  
この光景は、スイス、ツェルマットから見たマッターホルン。定番である。  
厳寒の季節、3月に訪ねた。

空気が冷たいだけに、空気が澄んで、空気が、実に美味しい。  
何度か、マッターホルンは訪ねている。地理もわかる。  
いつも違うコースを選んで、出会いを楽しむことにしている。  
いつものように、暗いうちから宿を出発。ひとり旅であるので自由。  
この時も、特に、どこまで行くという予定はない。

いつも心ひかれるものがあれば、道草するという旅のスタイル。  
この日は、戸外に表示されている温度計は、マイナス9度C。  
風が吹くと、その冷たさは、言葉にならない。

幸い、この日は微風。煙突のけむりが語っている。  
普通なら、山登りをはじめるか、ロープウェイに乗るところ、  
駅から、あまり遠くないところで宿泊。  
ツェルマットの街の高台には、あまり行かない。  
その日、ふと、気づき、散歩を始めた。

素朴な家々、スイスらしい。急ぐ旅ではない。  
今日の目的地も、風次第。そんな心の余裕があったのか、  
家族は、何人だろう。どんな朝食なんだろう。  
食事をする前に、映画のシーンのように、お祈りをしているのだろうか、  
準備しているのは、お母さんだろうか、それとも、おじいさん？  
子供さんも、手伝っているのだろうか。  
そんな想像を楽しむ、なんとも楽しい、ひと時を持った。

なんでもない、何気ないシーン。

マッターホルンの美しさも、さることながら、

この煙突のけむりには、なぜか心惹かれた。平和がいい。

今日も、いい一日でありますように。

～～スイス、マッターホルンの画像に関して～～

例えば、心模様 3489、3490、3491、3492、をご覧くださいくと

マッターホルンの画像が、ご覧いただけます。

下記は、スイス側からの、マッターホルンの夜明け。陽はまた昇る。尖峰の夜明け。

大変な時期ですが、お互いに、我慢と実践が大切な時。頑張りましょう。

コロナ問題の解決の先を、夢・目標に、今に、全力投球。

